

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～第1報～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成14年4月1日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Asterionella formosa*  
(ホシガタケイソウ)  
珪藻綱

4～32個の細胞が端で接着し、ホシガタの群体を作る。細胞の殻面を見ると（通常は殻環面が見えている）両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られ1952年から1958年には5月に優占種となった。

動物プランクトン第1優占種



*Polyarthra vulgaris*  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。  
前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、引き続きホシガタ珪藻が多く、キクロテラも多く見られた。動物プランクトンも前回に引き続きハネウデワムシが多かった。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	140

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Tintinnidium fluviatile</i>	60

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成14年4月1日

## (2) 植物プランクトン

第1報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	35		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	40		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	14		
(珪) <i>Melosira italica</i>	3		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	740		
(珪) <i>Rhizosolenia longiseta</i>	10		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	2200		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	14		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	340		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	280		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	180		
(緑) <i>Dictyosphaerium tetrachotomum</i>	40		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	9		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	95	2.4	6.7
(珪) 珪藻綱	2981	75.0	52.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	0.3	0.2
(褐) 褐色鞭毛藻綱	620	15.6	32.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	269	6.8	9.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3975	総体積	1.96E+06
種 類 数	16	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)  
ただし \* 印の種は群体数 (群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。